

もくじ

新年度を迎えて…	1
事業計画・委員…	2
支部長紹介…	3
専門部長紹介…	4
防災訓練報告…	5
事業活動報告…	6
写真で見る 宮田の昔…	6

宮田まなざし

宮田学区
コミュニティ推進会

第118号

令和5年6月20日発行

〈発行責任者〉

岩間 廣道

〈編集〉

広報部

令和5年度を迎えて

コミュニティ推進会

会長 岩間 廣道



3年間
にもわた
り、猛威
をふるい
続けたコ

ロナ感染症も「感染症法」の改正で、季節性インフルエンザ並みの5類扱いとなり、やっと呪縛が解けました。国・県・市もすべての規制を撤廃、予防・判断は個人の責任に基づく行動に任せることとなりました。

ただ、個人の考え方は、楽観的・慎重それぞれが混在している事実があります。当推進会の事業を成す執行部側からの視点からすれば、参加者内に慎重な考え方がゼロに近づく状態になるまで、現状維持でいきたいと思っています。ご理解を賜りたく存じます。

さて、当推進会は令和5年度の活動方針を次の通り掲げました。

① コミュニティの自治・経営が図られるよう、市と協働による持続可能なまちづくりの構築を目指

します。

② 近年増えている大きな自然災害の恐ろしさを忘れることなく、共助の精神のもと、防災意識の向上と訓練への参加促進を目指します。

③ 市の福祉関係各課、健康づくり推進課、社会福祉協議会など、各種団体との連携を深めながら、「元氣な町 宮田」を目指します。

④ 将来のコミュニティ活動の担い手となる青少年（小学生・中学生・高校生）およびPTAと連携協力し、子どもたちの健全育成を目指します。

⑤ 各事業の企画スタッフを幅広く募集し、明るく実のある事業を進めます。今年度からは、企画した事業のほとんどが実施されます。コロナ禍による「失われた3年間」で執行部は、やり方までわからないこともあり、それと同時に、これを契機ととらえ、新たなやり方を見出すのもよいのではないでしょうか。検討を重ねます。

定期総会の開催

令和5年度
宮田学区コ
ミュニティ推
進



宮田学区コミュニティ定期総会が4月23日(日)、宮田交流センターにおいて開催されました。

会活動方針スローガン「みんなで拓こう、明日につづく道」が読み上げられました。続いて、令和5年度の役員、運営委員、専門部長が紹介されました。最後に、令和4年度清掃功労者表彰では、団体で東町二区支部が受賞しました。本年度も皆様のご協力により、無事終了することができました。ありがとうございました。



◆ 令和5年度 事業計画

月	実施予定日	事業名
5月	11日・18日	日本書記講座
	20日	グラウンドゴルフ大会
	21日	ニューススポーツで遊ぼう
	25日	切り絵教室
6月	1日・15日	日本書記講座
	10日	防災無線使用研修
	17日	土曜学校
	20日	宮田まなざし発行(118号)
	22日	切り絵教室
	23日	親子ふれあい教室
	24日	宮田小学校花壇整備
	25日	ニューススポーツで遊ぼう
7月	1日	宮田小学校花壇整備
	6日・20日	日本書記講座
	12日	防犯講演会
	14日	親子ふれあい教室
	15日	土曜学校
	21日～31日	ラジオ体操
	23日	ニューススポーツで遊ぼう
	27日	切り絵教室
	29日	宮田元気っ子体験村
8月	3日・17日	日本書記講座
	19日	土曜学校
	20日	ニューススポーツで遊ぼう
	24日	切り絵教室
	25日	親子ふれあい教室
	27日	宮田学区避難訓練
9月	7日・21日	日本書記講座
	9日	スマホ教室
	16日	土曜学校
	17日	宮田学区敬老会
	25日	ニューススポーツで遊ぼう
	28日	切り絵教室
	30日	スマホ教室
10月	5日	宮田まなざし発行(119号)
	5日・19日	日本書記講座
	7日	北町支部防災訓練
	8日	視察研修
	14日	再発見ウォーク
	15日	歴史探訪
	21日	土曜学校
	21日	ニューススポーツの集い
	21日・28日	宮田小学校花壇整備
	26日	切り絵教室
11月	2日・16日	日本書記講座
	5日	宮田ふれあいまつり
	18日	土曜学校
	18日	郷土かるた大会
	23日	切り絵教室
	25日	合同防災訓練
	26日	ニューススポーツで遊ぼう
12月	2日	そば打ち講習会
	7日	救命講習会
	7日・21日	日本書記講座
	9日	グラウンドゴルフ大会
	9日	ジャズ講座
	16日	土曜学校
	17日	ニューススポーツで遊ぼう
	21日	切り絵教室
	23日	正月飾りづくり講習会
1月	1日	宮田まなざし発行(120号)
	4日・18日	日本書記講座
	20日	まゆ玉飾りづくり
	20日	土曜学校
	25日	切り絵教室
	26日	親子ふれあい教室
	28日	味噌づくり講習会
	28日	ニューススポーツで遊ぼう
2月	1日・15日	日本書記講座
	16日	親子ふれあい教室
	17日	土曜学校
	22日	切り絵教室
	25日	ニューススポーツで遊ぼう
3月	7日	日本書記講座
	20日	宮田まなざし発行(121号)

◆ 本部・運営委員

会 長	岩 間 廣 道	神 田
副 会 長	堀 江 憲 明	東町二区
	大和田 剛 志	清 幡
	船 橋 良 則	足 房
	千 葉 正 子	神 田
会 計 (コミュニティ)	橋 郁 夫	生 保 内
	奈 良 玲 子	清 幡
会 計 (地域福祉)	丸 山 恵 助	東町一区
	前 野 教 子	東町一区
会 計 監 査	鈴 木 一 広	清 幡
	和 田 穂 積	東町二区
支 部 長	菊 地 敏 明	清 幡
	橋 郁 夫	生 保 内
	船 橋 良 則	足 房
	水 庭 亮 三	北 町
	佐 藤 裕	本 町
	大和田 元 康	神 田
	海老沢 正 徳	大平AP
	小 澤 泰 男	東町一区
	遠 藤 利 秀	東町二区
	廣 報 部	岩 間 廣 道
	生 活 環 境 部	大和田 一 雄
	青 少 年 育 成 部	大和田 剛 志
専 門 部 長	文 化 体 育 部	大和田 豊 克
	防 災 ・ 防 犯 部	藤 原 則 之
	福 祉 推 進 部	千 葉 正 子
	生 涯 学 習 部	岩 間 廣 道
	事 務 局 長	大和田 豊 克

市・委嘱委員

- ❖ 不法投棄監視員
 - 扇 清 光明
 - 堀 江 憲 明
 - 橋 郁 夫
 - 大和田 一 雄
- ❖ 消費生活サポーター
 - 茂 木 順 江

各種機関団体
推進委員

- ❖ 日立市体育指導員
 - 吉 村 文 生
 - 佐 藤 登喜江
- ❖ 日立地区
体育振興会理事
 - 大和田 豊 克
 - 比 佐 保 美
- ❖ 日立市土木委員
 - 橋 郁 夫

地域福祉推進員

- 橋 郁 夫
- 船 橋 良 則
- 千 葉 正 子
- 田 尻 久 克
- 大和田 豊 克

◆ 宮田元気っ子体験村 ◆

宮田小学校の4～6年生を対象に
男女40名を募集します

〈期 日〉 7月29日(土曜日)

〈会 場〉 宮田交流センター



◆ 敬老会 ◆

〈期 日〉 9月17日(日曜日)

〈会 場〉 宮田小学校 体育館

皆様のご長寿をお祝い申し上げます



◆ 宮田ふれあいまつり ◆

〈期 日〉 11月5日(日曜日)

〈会 場〉 宮田小学校 校庭

* 各支部の模擬店出店などにご協力をお願いします。



◆ 合同防災訓練 ◆

〈期 日〉 11月25日(土曜日)

〈会 場〉 宮田小学校 校庭

* 宮田小・中小路小・駒王中との合同避難訓練です。



支部長紹介

★東町一区支部

小澤 泰男



5月になり、コロナの対応が変わりまして、

休止していた支部活動をどのように盛り上げるかが問われる一年となります。

皆さんが参加しやすい行事を目玉に、地域を元気にしてこそ、地域の活性化につながると思います。

周りの顔が見えないのではなく、見える工夫をしていくことが必要なのです。

★東町二区支部

遠藤 利秀



支部長をお受けして6年目になります。

私の趣味の一つに、ジャズを楽しむことがあります。CDで聴く楽しみもありますが、生の演奏をライブハウスや会場で聴くのも楽しいです。コロナ禍の前はジャズを

演奏する友達に頼み、カフエレストランでライブのプロデュースもしました。機会があれば、皆さんにも聴いていただきたいです。

★北町支部

水庭 亮三



4月の某新聞紙一面に「自治会活動曲がり角」、「加入

率低下、役員高齢化、解散も」とあった。我々の置かれている立場と同じです。

この3年間はコロナ禍に遭遇して活動が停滞し、地域のコミュニケーションが図れませんでした。

こんな中、支部長の職も8年目です。中々役員になり手がおらず、同じ人が続けるしかない状況です。

★足房支部

船橋 良則



支部長職が廻ってきから、高齢化によって「輪番制

度」が維持できずに継続7年目になりました。幸いにも世帯数が少ない

ため、まとまりがよく、町内会員の方々が協力的なので、学区で一番楽な支部長だと思っています。

なお、民生委員と学区の副会長および福祉推進委員も担当していますので、よろしくお願いいたします。

★大平AP支部

海老沢 正徳



このたび支部長になりました海老沢です。

私の仕事は、学校給食の牛乳配送です。休日にはテレビ鑑賞などを楽しむインドア派です。今回、このような役職は初めてですので、諸先輩方に教わりながら行事を行ってまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

★本町支部

佐藤 裕



この3年間、当支部でも活動自粛の中、祭礼行事等は

簡略化してきました。コロナウイルスも「5類」に移行し、少しずつ従来の生活

様式が取り戻せるようになります。つつあります。

当学区の大きな4つのイベントも再開されますが、不易と流行を生かした取り組みも大事と考えます。今後も、会員の安全第一のもと、活動してまいります。

★神田支部

大和田 元康



生まれも育ちも神峰町の私です。わが家は60年ほど前、

精米所を営んでいました。牛や馬が米俵を積んだ荷車を引いて来ていたことを懐かしく思い出します。

昨年、地元の宮田神田町内会は75年の歴史に幕を閉じ、解散しました。

互いに守り、支え合う地域社会をめざし、諸先輩のご指導を仰ぎながら活動を進めていきたいと思っています。

★生保内支部

橋 郁夫



私が生保内に来たのは67年前、15才の時です。町内会

の班長の職は、56才の父が死んだ28才から約10年ごとに務めてきました。また、子供会育成会には40才ぐらいから150名ほどの子どもたちと楽しく遊びました。

近年、体力と気力の衰えを感じ、今年度で引退したいと思っています。

私より若い生保内町内会の皆様、来年度以降の活躍に期待しています。

★清幡支部

菊地 利明



清幡支部は、太平洋に面し、小幡、清水の旧町内と所

沢、縄文の丘の4地区から構成されています。

高齢化が進む中、町内活動がむずかしくなっていますが、若い世代の方々にも協力していただき、地域のコミュニケーションを取り合っていければと思います。

この一年、各支部長方と協力し合って努めてまいりますので、よろしく願いいたします。



専門部の抱負

活動を通して

コミュニケーションを
図りましょう

★生涯学習部

部長 岩間 廣道

令和4年度の当部事業はコロナ禍により「風土記」と「切り絵」のみの継続となりましたが、寂しい結果でした。その副作用ではないですが、今年度は新事業にチャレンジしようと考えています。

はじめに「スマホ教室」です。コミュニケーションプラン改定のためのアンケート欄には、かなりの数の実施希望があり、その声にお応えしたいと検討中です。

次に、音楽が私たちの周りから少なくなったことで、年末ごろ賑やかに過ごせたらと思って「ジャズ講座」を企画しました。ぜひ、お楽しみにしてください。

★文化体育部

部長 大和田 豊克

文化体育部の部長を務めさせていただき、2年目に

なります。今年度は、事務局長も務めさせていただくことになりました。不慣れですが、どうぞよろしくお願いたします。

文化体育部の事業は、昨年度と同様の事業を計画しています。ほぼ毎月実施のニユースポーツ、春と秋に実施しているグラウンドゴルフ、夏休みのラジオ体操、正月飾り作り講習会など、年齢に関係なく楽しむことができます。

皆様には、ぜひ参加していただき、健康増進を図るとともに、地域の方々との交流も図っていただければと思います。

★防災・防犯部

部長 藤原 則之

当部は、自主防災と防犯に関する啓発活動を主としており、7名の防災士が在籍しています。

事業としては、災害時の避難行動訓練、避難所開設訓練、救命講習会を実施してまいります。また、住居侵入による盗難や詐欺など、犯罪に関する防犯講演会を実施し、自助（自分の命は自分で守る）、共助（自分たちの町は自分たちで守る）

の重要性を知っていただければとの強い思いで活動しています。

コロナへの対応が「5類相当」になりましたが、感染症対策を講じて各種訓練講習会、講演会を実施してまいります。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

★生活環境部

部長 大和田 一雄

部長に任命されて、今年度で10年目です。専門部長の中でも超多趣味の私ですが、当部事業である「花壇づくり」は、山野草や花木、高山植物などを栽培する趣味の延長でもあります。

また「蕎麦打ち講習会」の影響もあり、自宅工房で挽き立て、打ち立て、茹で立ての蕎麦を食しています。その他、ギター、磯釣り、

日本酒のラベル収集、焼物収集、囲碁、麻雀、オセロ、ウォーキング、グラウンドゴルフ、バードゴルフ、日本刀の研究、刃物の収集、料理、花の撮影、素潜り、速記など、数えれば18種類にもなります。

どなたとでも会話ができて、素敵な関係を大切にしたい私です。

★青少年育成部

部長 大和田 剛志

青少年育成部長の大和田です。よろしくお願いたします。

本年度の当部事業は恒例の「親子ふれあい教室」をはじめ、「ニユースポーツの集い」、「郷土かるた大会」、「まゆ玉飾り作り」などを計画しています。事業名は同じですが、より拡充した内容となる予定です。

すべての事業においてコロナ制限が緩和されましたが、安心・安全を基本に親子ともどもリフレッシュできるようなイベントを考案中です。何かご要望がありましたら、宮田交流センターまでご一報ください。皆様のご参加をスタッフ一同、お待ちしております。

★福祉推進部

部長 千葉 正子

新型コロナウイルス感染症も制限が緩和され、昨年度は予定していた事業もある程度、実施することができました。

本年度の当部の事業計画の中では「あんしん・安全ネットワーク事業」の充実

を図るため、支部ごとに情報交換会を行いたいと考えております。社会福祉協議会との連携を図りながら進めてまいります。

また、指定事業の「ふれあいサロン」、「ふれあい健康クラブ」、「おもちゃライブラリー」も実施します。

皆様とのつながりを大切に活動していきたいと思っております。

★広報部

部長 岩間 廣道

私は、文字を書くことが苦手でした。そんな私が文字を駆使して情報を伝える役目を負う皮肉な巡り合わせに、不安で頭がいっぱいで、嫌で、いやで、イヤで、憂鬱な毎日だった一年前を思い出します。

そんなド素人の私に編集のやり方、割付けの仕方、写真の使い方など教えてくれたのは、当部に携わってくれた方々でした。ここにコミュニケーションの精神を感じられたことを覚えています。経験がなくとも、苦手なことでも、周りの仲間が支援してくれる、そんな和やかな風が交流センターには満ちています。

常に内容を更新して 質の高い避難所開設訓練を

緊急時に備えて常に避難所の開設訓練は行っているが、2月22日(水)、「日立市避難所開設訓練」が初めて駒王中学校体育館で開催されました。参加者は、市職員をはじめ、中小路学区コミュニティ会員、そして当防災・防犯部員です。

内容は、顔合せの自己紹介、防災倉庫内の備蓄品確認、間仕切りテントとダンボールベッドの組み立て・収納、タブレットとテレビにての防災対策課とオンライン会議です。また、感染症対策内容の説明、全員による意見交換を行い、後片づけをして終了しました。

場所が変わると様々な検討項目があることがわかり、我々も以前に経験してきた

避難所パーティーション 組み立て収納講習会が開催

避難所には、必ず「防災倉庫」が設置されています。



備蓄品には、感染症対策・プライバシー確保用のパーティーション(間仕切り)があります。現在、メインで使用するパーティーションは以前に備蓄されていたダンボールではなく、ワンタッチで開いて成形される簡単な仕組みになっています。ダンボールの方は部品が複数あり、組み立てに時間がかかりますが、後片づけが簡単です。一方、現仕様のパーティーションは開く方法は簡単ですが、後片づけ

の内容を更新していかなければならないと感じました。



こども園が市と当部の指導で 初めて避難訓練に参加

みやた認定こども園から避難訓練への参加依頼があり、3月2日(木)、市防災対策課と当防災・防犯部員の指導のもと、初めて参加していただきました。

参加依頼の目的は「訓練時の見守り」と「訓練内容の改善点の洗い出し」とのことでした。こども園では毎月1回の頻度でいろいろな想定を題材に避難訓練を実施しているそうです。

こども園は0・5才児の99名を預かり、先生を含めた職員は40名です。実施案がきちんと作成されており、園児と先生への留意点が細部まで計画された内容でした。訓練では非常ベルを鳴らしますが、園児が怖がらないよう何度も練習したそうです。最終避難場所は宮田小学校ですが、避難途中で車が来れば必ず歩みを止め、車が去ってから歩き出します。見守りの中でも、この場面が多々ありました。

また、0才児を背中に背負い、1才児を手つなぎで引率する先生は体力的にも大変そうに見えました。先生方は一人で複数の園児を担当しますが、決して目を離したりしませんでした。園児同士は手をつなぎ、先生は確認しながら歩きます。短い距離の往復でしたが、車の往来、曲がり角の死角の安全確認、道路の横断等の留意点がありましたが、すべて対策済みでした。

怪我もなく無事に訓練が終了したことは、先生方の努力の賜物と感じました。



防災・防犯部

部長 藤原則之

◆ふれあいサロン 北町 北町支部

写真旅行でリフレッシュ!

代表 鈴木 淳子

桜の開花も間近に迫った3月、当サロンでは「写真旅行でリフレッシュ」というタイトルで、講師の方々とコミュニケーション関係者を招き、大きなパネル写真35枚を紹介してもらいました。

わが家の桜が咲く古木をはじめ、全国各地への旅、撮影の苦労話など、まるで写真から音が聞こえてくるような素敵な時間でした。帰り際、皆さんにかわいい小彼岸桜を持ち帰っても



らいました。花のようにたおやかに、力を合わせてサロンづくりに励みます。

宮田小学校と
宮田民児協との
懇談会を開催

宮田学区民生委員

児童委員協議会

会長 沼田 正美

2月27日(月)、コロナ禍のために休止していた「宮田小懇談会」を3年ぶりに開催しました。

始めに校長先生から、学校運営の基本方針「よく遊

び、よく学び、助け合いのできる児童の育成」について説明がありました。懇談では、民児協側から小学校の統合、交通安全、ネット環境、スポーツ少年団、いじめ、不登校問題等の質問がありました。校長先生からは、学校が置かれている現状と問題点を踏まえ、真摯な回答をいただきました。相互に情報を共有することの大切さを認識し、実りある時間となりました。

写真で見る
宮田の昔①

戦災から4年目の
産業文化博覧会

産業文化博覧会

日立町と助川町が合併し、日立市が誕生したのは、昭和14年9月1日のことです。

全国で151番目に市制が施行されました。

宮田小学校(当時の宮田国民学校)は、昭和20年7月19日、アメリカ軍の焼夷弾攻撃により焼失しましたが、いち早く翌年に再建となりました。

昭和24年9月1日、市制施行10周年記念式典の会場となったのは宮田小学校。講堂に450

人の来賓を迎え、宮田小学校の児童による『日立市民の歌』が斉唱され、幕を閉じました。

記念行事として8月28日から11日間にわたって「日立産業文化博覧会」が開催されました。市内の事業所、産業・文化団体の出品があり、市内はもちろん近隣からの観覧者で連日



にぎわいました。第1会場の産業館はまもなく開校する駒王中学校、第2会場の第一文化館は中小路小学校でした。

写真は、第3会場の第二文化館になった宮田小学校の正門です。公衆衛生、水道、健康相談のほか、文芸、和・洋裁、華道、書道、防犯、消防に関する展示が行われました。

3会場合わせた入場者数は14万人。当時の日立市の人口は5万5千人ほどです

から、にぎわいぶりがうかがえます。

空襲の記憶が今なお生々しく残る時期に行われた市制施行10周年の事業は、これまで市の歩みを顧みて反省と励みの契機となるよう、また鉱工業都市の実現を加速させるため、市民や諸産業に努力と協力を願うものでした。

日立市郷土博物館

研究員 萩原 明子

編集後記

『宮田まなざし』第118号をお届けします。

久しぶりに、マスクを外して歩いてみたら、多少汚れている空気でも新鮮に感じられました。

しかし、まだ完全ではないようで、注意をしながら生活はしなければならぬようです。それでも、計画している事業はすべて実現できそうです。

特に、今年は宮田小学校の創立150周年の記念の年で、11月にはコミュニケーション推進会とのコラボレーションが計画されているように、みんなで楽しくお祝いしたいものです。〈土龍〉